

熱中症防止にご協力願います

向暑の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

子供たちは、体調を崩すこともなく、笑顔いっぱい元気に登校し、1学期を過ごしてきました。子供たちへの健康管理の徹底等、皆様のご尽力の賜物と感謝申し上げます。

「新型コロナウイルス感染症防止」については、気を緩めることなく、今後も警戒が必要です。また、児童の健康や生命に甚大な影響を与える「熱中症」の予防にも、これからの季節は十分な対策が必要となります。

こうした中、児童の教育を受ける権利を持続的に保障していくため、下記の通り、感染症及び熱中症のリスクを最大限低減した上で、教育活動を工夫・充実させて参ります。

皆様のご理解とご協力を、引き続きお願い申し上げます。

記

1 当面の対応

(1) 8時5分までは登校できません

学校では、常に、地震等の自然災害や不審者の侵入等に備えておりますが、教職員が不在の時間帯は対応ができません。特に朝8時5分前は、きわめて無防備な状態です。

炎天下での「熱中症」及び「三密」を避けるためにも、8時5分前に学校に到着することがないように時間調整をしてください。分散して登校することが重要です。

(2) 「感染症」防止を徹底します

- ・感染症防止及び教育活動については、これまでと同様の対応を基本とします。
- ・具体的には、本校ホームページの「感染症から守る」をご覧ください。

<http://www.city.akishima.ed.jp/~fujimi/08covtd/boushi/boushiTop.html>

(3) 「熱中症」予防を徹底します

- ・登下校時や校庭で遊ぶ時は帽子を着用し、水筒を持参し、こまめに水分補給をします。
- ・登下校時は、マスクを外すようにします。

マスクを外す際は、人と十分な距離を確保し、会話を控えます。

- ・体育の授業等、運動をするときは、教員が声掛けし、マスクを外すようにします。

マスクを外すことが不安な場合は、着用したままでもかまいません。

その場合、熱中症予防のため、その児童の運動量を調整します。

(4) 暑さ指数に基づき、教育活動を制限します（屋内外を問わず活動場所ごと）

〈WBGT危険相当〉(WBGT31℃～)

教育活動全般において制限します。原則、運動は中止です。

- ・校庭での外遊びや体育等は、WBGT31℃未満の日陰等に限定します。
- ・教員の管理下において適切な水分補給や休憩とともに、活動量を抑制します。

〈熱中症警戒アラート相当〉(WBGT33℃～)

教育活動全般における制限を強化します。

- ・外遊び、体育、学級活動等の運動、野外活動（観察等）は、すべて中止します。

参考 ○環境省「熱中症予防情報サイト」 <http://www.wbgt.env.go.jp/>

運動に関する指針 (公財) 日本体育協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(2013)より

気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	
35°C以上	31°C以上	運動は原則中止	WBGT31°C以上では、特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合は中止すべき。
31~35°C	28~31°C	厳重警戒 (激しい運動は中止)	WBGT28°C以上では、熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。 運動する場合には、頻繁に休息をとり水分・塩分の補給を行う。 体力の低い人、暑さになれていない人は運動中止。
28~31°C	25~28°C	警戒 (積極的に休息)	WBGT25°C以上では、熱中症の危険が増すので、積極的に休息をとり適宜、水分・塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休息をとる。
24~28°C	21~25°C	注意 (積極的に水分補給)	WBGT21°C以上では、熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24°C未満	21°C未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	WBGT21°C未満では、通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。 市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。